

ふくい街角景気速報

(平成30年5月分)

調査期間 平成30年5月11日～25日 (回答率: 90%)

概況

景気の現状判断DIは50.3となり、前月と比べ4.1ポイント低下した。また、景気の先行き判断DIは52.8となり、前月と比べ0.3ポイント上昇した。

■景気の現状判断DI 50.3 (前月比 ▲4.1)

- 家計動向関連では、前月に比べ4.4ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ5.2ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月と同水準であった。

(意見の主な内容)

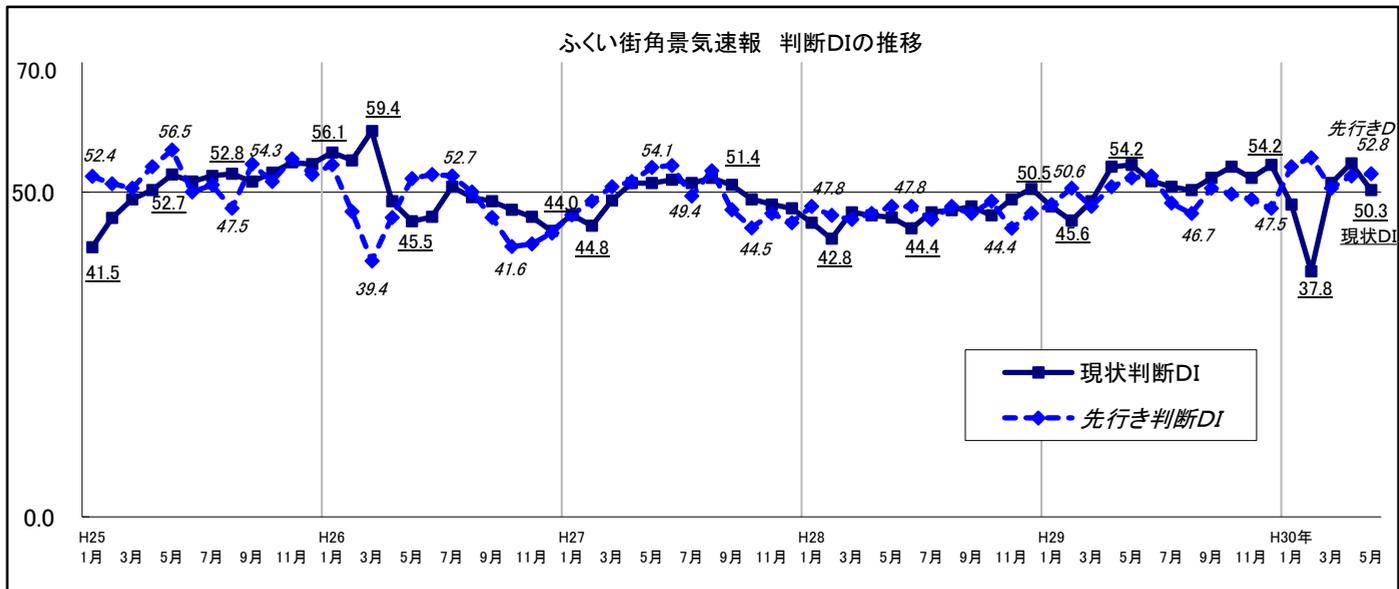
- 客数は前年より伸長しているが、売上高は前年維持にとどまっている。
生鮮食品・惣菜などが苦戦している。
(百貨店・ショッピングセンター)
- 取引先のメーカーにおいて、省人化への取組みが進んでいると同時に工場規模拡大の動きがあり、設備投資が進んでいる。(一般機械製造業)

■景気の先行き判断DI 52.8 (前月比 +0.3)

- 家計動向関連では、前月に比べ0.5ポイント上昇した。
- 企業動向関連は前月に比べ1.6ポイント上昇した。
- 雇用関連は、前月に比べ3.8ポイント低下した。

(意見の主な内容)

- 福井国体・障スポにより、福井駅周辺の店舗において県外からのお客様が増えることを予想している。(観光物産店)
- 大手スマートフォン向けで受注の増加がみられ、コンデンサ需要全体としても受注は堅調であり、生産は継続して高水準の操業が見込まれる。(電気機械製造業)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	9	6	3	0
奥越	大野市、勝山市	10	5	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	14	4	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	19	10	5	4
計		100	51	36	13

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	H29 12	H30 1	2	3	4	5	(前月差)
合計		54.2	48.1	37.8	51.4	54.4	50.3	▲4.1
家計動向関連		50.5	44.0	34.8	51.1	52.2	47.8	▲4.4
小売		51.6	42.2	33.6	49.2	52.3	46.1	▲6.2
飲食		50.0	37.5	12.5	50.0	75.0	62.5	▲12.5
サービス		47.9	50.0	41.7	56.3	47.7	50.0	+2.3
企業動向関連		58.1	49.2	35.2	49.2	56.8	51.6	▲5.2
製造業		58.7	48.8	34.1	42.0	51.1	50.0	▲1.1
非製造業		56.3	50.0	37.5	65.0	70.0	56.3	▲13.7
雇用関連		57.7	59.6	56.3	57.7	55.8	55.8	+0.0

○回答別構成比

	年 月	H29 12	H30 1	2	3	4	5	(前月差)
良くなっている		4.4%	1.1%	1.1%	5.6%	6.6%	3.3%	▲3.3
やや良くなっている		30.0%	20.0%	1.1%	18.9%	25.3%	15.6%	▲9.7
変わらない		44.4%	51.1%	44.4%	54.4%	49.5%	62.2%	+12.7
やや悪くなっている		20.0%	25.6%	24.4%	17.8%	16.5%	16.7%	+0.2
悪くなっている		1.1%	2.2%	18.9%	3.3%	2.2%	2.2%	+0.0

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	H29 12	H30 1	2	3	4	5	(前月差)
合計		47.5	53.9	55.3	50.6	52.5	52.8	+0.3
家計動向関連		44.0	49.5	55.4	47.8	52.2	52.7	+0.5
小売		43.8	46.9	53.1	50.0	52.3	50.0	▲2.3
飲食		25.0	62.5	62.5	50.0	37.5	50.0	+12.5
サービス		47.9	54.2	60.4	41.7	54.5	60.4	+5.9
企業動向関連		47.6	56.5	55.5	51.6	50.0	51.6	+1.6
製造業		46.7	53.6	52.3	51.1	45.7	48.9	+3.2
非製造業		50.0	62.5	62.5	52.5	60.0	59.4	▲0.6
雇用関連		59.6	63.5	54.2	57.7	59.6	55.8	▲3.8

○回答別構成比

	年 月	H29 12	H30 1	2	3	4	5	(前月差)
良くなる		2.2%	2.2%	4.4%	2.2%	2.2%	3.3%	+1.1
やや良くなる		12.2%	27.8%	28.9%	18.9%	28.6%	23.3%	▲5.3
変わらない		60.0%	55.6%	51.1%	62.2%	48.4%	55.6%	+7.2
やや悪くなる		24.4%	12.2%	14.4%	12.2%	18.7%	16.7%	▲2.0
悪くなる		1.1%	2.2%	1.1%	4.4%	2.2%	1.1%	▲1.1

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	家計 動向	福井	ビジネスホテル	秋季に国体が開催されるため、例年この時期にあるスポーツ大会、学会などが前倒しで開催されており、稼働率が上昇している。
		坂井	一般機械	取引先のメーカーにおいて、省人化への取組みが進んでいると同時に工場規模拡大の動きがあり、設備投資が進んでいる。
	企業 動向	嶺南	運輸	原子力発電所関係の売上や受注が増加している。
②やや良くなっている	家計 動向	坂井	小売店	地元農産物の種類・量ともに増加し、売上につながっている。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	客数はほぼ前年並みで推移しているが、客単価が多少アップしており、売上が増加している。
		嶺南	大型小売店	季節要素であるエアコンや冷蔵庫の売上が伸びている。
	企業 動向	福井	眼鏡	3ヶ月前は雪の影響が色濃く残った時期であるため、その頃と比較すると、季節的なマイナス要因が無い分、売上げは上向いてきている。
		丹南	電気機械	大手メーカーのスマートフォンの受注に増加がみられる。
		福井	運輸	運賃の値上げ交渉等が徐々に進み、売上、収支は改善している。
	雇用	奥越	学校就職担当者	今月に入り、企業の来校数が増加した。
③変わらない	家計 動向	丹南	小売店	消費者の購買意欲が低く、最小限の物しか手にしない。
		坂井	スーパー	来客数は前年を下回ったが、一人当たりの単価が上昇し、全体の売上としては微増となった。
		嶺南	スーパー	相変わらず顧客の低価格志向が継続し、財布のひもが固い印象である。
		坂井	観光・レジャー施設	団体客は堅調だが、個人客は今のところ予想していたほどの入場に至っていない。
	企業 動向	奥越	繊維	受注については堅調に推移しているが、4月以降、電気代等のコストアップにより利益面では難航している。
		福井	一般機械	当社の客先である建設機械業界は、ほぼ全世界市場の景気回復により、国内生産の好調が継続している。
		福井	化学・プラスチック	受注状況は回復傾向だが、原料費高騰の影響が出てきている。
雇用	坂井	IT関連	受注額、売上とも大きな変化はない。	
④やや悪くなっている	家計 動向	嶺南	商店街	春からの入込みに期待していたが、増加する要素がなく伸びていない。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	客数は前年より伸長しているが、売上高は前年維持にとどまっている。生鮮食品・総菜などが苦戦している。
		坂井	観光物産店	ゴールデンウィークの後半の売り上げが昨年を上回ることができなかった。
	企業 動向	丹南	眼鏡	海外からの受注減少、国内専門店の売上ダウンによる。(ロープライスチェーン店のシェア増)
福井		石油関連製品販売	原油が上昇し、燃料油販売単価が値上がりした影響により、お客様の購入数量減少が見受けられる。	
⑤悪くなっている	企業 動向	福井	繊維	受注が減少し、売上が減少している。消費者の傾向が変わってきている。
		福井	不動産・建設	3ヶ月前は繁忙期で移動シーズンのピークであるため、比較すると現在は悪くなっている。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなる	家計 動向	福井	観光物産店	福井国体・障スポにより、福井駅周辺の店舗において県外からのお客様が増えることを予想している。
		福井	ビジネスホテル	国体開催に向けて需要増が予想されるため、売上が増加する見込みである。
	企業 動向	嶺南	運輸	福井国体や関電再稼働に向けた工事が増加してくる。
②やや良くなる	家計 動向	福井	商店街	国体に向けての機運の上昇により消費が増えると期待も含めて。
		嶺南	スーパー	夏場の県外からの来客の増加を期待したい。
		坂井	観光物産店	夏休みの帰省時期になるため、消費が増える予想。
		福井	自動車販売・整備	6月末から7月中旬にかけて各社夏期賞与の支給時期を迎え、それを見込んだ需要が予想されることから、やや良くなるのではないかとされる。
		福井	旅行代理店	3月決算の好業績の影響を受けた活発な動きへの期待感を込めて。
		嶺南	旅館	夏の繁忙期を迎えて人も行動的になり、旅行需要も上向くものと考えている。先行予約も順調である。
	企業 動向	福井	眼鏡	季節に影響される要素であるサングラスの売り上げが昨年よりも好調になっており、昨年よりも実績の向上が見込まれる。
		丹南	電気機械	大手スマートフォン向けで受注の増加が見られ、コンデンサ需要全体としても受注は堅調であり、生産は継続して高水準の操業が見込まれる。
		嶺南	コンクリート製品	8月頃から公共事業が発注され、北陸新幹線関連の仕事も8月頃から始まる予定である。
		福井	不動産	今後2～3ヶ月は繁忙期となるため。
③変わらない	家計 動向	福井	百貨店、ショッピングセンター	大きくは変わらないと思われるが、天候に良し悪しに左右される時期でもある。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	衣料の売上の落ち込みが大きく、この部門が改善されないと景気が良くなると言えない。
		嶺南	大型小売店	お盆をすぎると閑散期に入り、売上は減少する見込みである。
	企業 動向	福井	一般機械	国内外の取引はともに受注が良好である。
		福井	化学・プラスチック	今後の受注状況は順調を予想するが、原料価格の推移次第では今後に影響が及ぶ可能性もあると考えられる。
		福井	IT関連	現在の受注見通しにより判断。大きな変化は見られない。
	雇用	嶺南	学校就職担当者	6月1日からの選考解禁に伴い、企業の採用活動は下降気味になっていくと思われる。
④やや悪くなる	家計 動向	福井	百貨店、ショッピングセンター	近年はネット検索で詳しい情報が簡単に得られ、どこでもブランド物が入手できるため、質の高いモノを探し出さねば生き残れない。
		坂井	スーパー	節約志向が継続している。地方経済の所得水準が芳しくない。
		丹南	スーパー	競合店の出店があるため。
	企業 動向	奥越	繊維	コストアップ、円高により、輸出関連商品の先行きが懸念される。
		丹南	繊維	原材料、電気料金、運賃などの価格上昇。
		福井	眼鏡	販売単価が上がらない。一般専門店の売上がかなり落ちている。
		福井	運輸	原油価格の高騰による利益面の圧迫。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		51
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	6
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	2
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		13
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)